

ペットボトルで夢発射



勢いよく水を吹き出し、飛び出すロケット＝関市追間、中日本航空専門学校

20m上昇、分離成功

航空生産科の授業「宇宙工学特論」の一環で行われ、3年生約50人が参加した。4人一班で1本、10本余りのロケットと「衛星」を作った。衛星は、ペットボトルの中に基板や小型カメラを搭載する仕組みで、自動で分離できる構造にした。学生たちがポンプでロケットに空気を注入すると、ロケットは次々と水を吹き出した。風の影響で飛ばなかったり、水平方向に飛んでしまったり失敗するケースが多かった。うまくいったロケットは10〜20mの高さまで飛び、無事衛星を分離して、パラシュートで降

中日本航専

水ロケットに模擬人工衛星搭載

関市追間の中日本航空専門学校の学生が4日、模擬人工衛星の打ち上げ実習を行った。ペットボトルロケットの原理で作られたロケットは、水しぶきを上げて空に舞い上がった。
(田島豪人)

下させた学生たちは歓声を上げた。 今後は高度を上げる実習を行う予定。